

Anniversary  
AKAGI  
50<sup>th</sup>

体験の風を  
おこそう

# 2021(令和3年度) 施設概要



独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
 **国立赤城青少年交流の家**

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山 27

TEL: 027-289-7224 FAX: 027-289-7226

<https://akagi.niye.go.jp/>

E-mail: [akagi-soumu@niye.go.jp](mailto:akagi-soumu@niye.go.jp)



国立赤城青少年交流の家は、団体宿泊訓練を通じて健全な青年の育成を図ることを目的として文部省(現文部科学省)により、全国7番目の国立青年の家として昭和45年4月に設置(昭和46年4月開所)され、平成13年4月に独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に、平成18年4月には、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家となりました。

上毛三山(赤城山・榛名山・妙義山)の一つ赤城山南麓の標高530メートルに位置する国立赤城青少年交流の家は、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。

## 目次

所旗・所章/マスコット/運営体制	2
沿革	3
研修施設の概要	4
施設配置図	5
利用案内	7
令和2年度 利用状況	8
令和3年度 教育事業等計画一覧表	9

## 所旗・所章

△ は、赤城山と青年の「家」をかたどり、同時に青年の向上心を表しています。

○ は、首都圏を意味するとともに、青年たちの友情にみちた連帯と和を示しています。

A は Akagi の A を表しています。

所旗は、この所章をあしらったもので、地色の浅緑は澄みわたった大空と関東の緑野、そして青年の「若さ」を意味しています。

マークの朱色は赤城山に咲くれんげつつじの色と青年の家のともしびを模し、青年の情熱と心のあたたかさを象徴したものです。

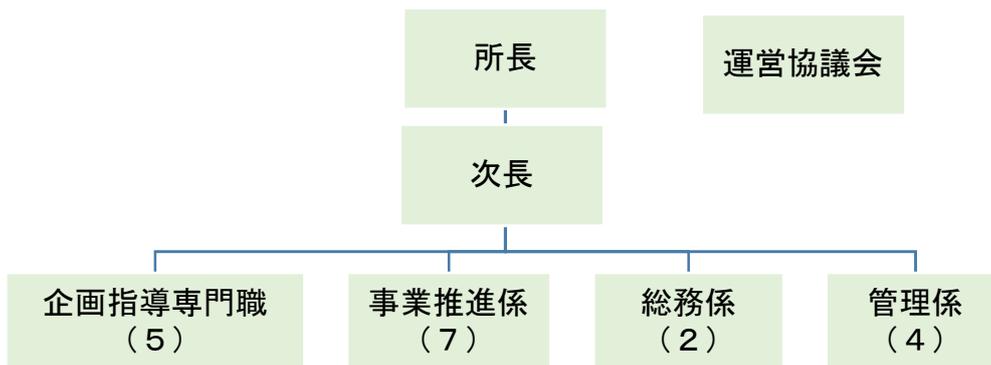
所旗・所章ともに、国立赤城青年の家として設置された昭和 46 年に制定されたものです。



## マスコット

当施設のマスコットはムササビをモチーフにした「ササビー」です。平成 30 年度に公募を行い、76 件の応募の中から、赤城職員と富士見地区の小中学生による投票の結果、箕輪茜さん(当時、太田情報商科専門学校)の作品が選ばれました。

## 運営体制(令和3年4月1日現在)



## 沿革

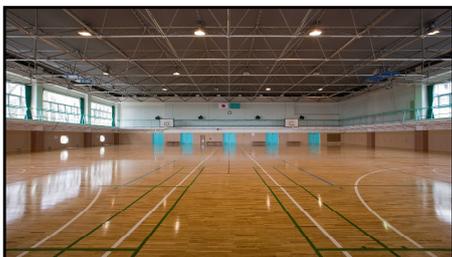
- 昭和 45 年 文部省令第 11 号の施行により、群馬県勢多郡富士見村に国立赤城青年の家を設置(4/17)
- 46 年 所旗・所章を制定(2/26)、所歌を制定(3/4)、管理棟・サービス棟・宿泊棟竣工、受入れ開始(3/20)、開所式を挙行(4/28)、自然遊歩道完成(8/3)、体育館竣工(12/25)
- 47 年 グラウンド・テニスコート・屋外バレーボールコート竣工(1/30)、武道館竣工(12/15)
- 50 年 特別研修棟竣工(4/13)
- 52 年 野外訓練コース(フィールドアスレチック)竣工(1/28)、大型バス等車庫竣工/自然植物園第 1 次計画造成(12/5)
- 54 年 交流棟竣工(5/31)
- 56 年 講師・ボランティア棟竣工(2/20)、開所 10 周年記念式典挙行(4/19)
- 57 年 開所以来延べ宿泊者 100 万人を突破(5/30)
- 60 年 浴室増設(中浴室竣工)(12/16)
- 平成 3 年 開所 20 周年記念式典挙行(10/29)
- 6 年 生活棟竣工(3/30)、開所以来延べ宿泊者 200 万人を突破(7/9)
- 7 年 管理棟・宿泊棟・サービス棟他外壁塗装工事、ボイラー 1 基更新・湯槽 1 基新設(2/28)
- 8 年 受変電設備更新、給排水設備更新(3/29)、改修工事のため受入休止(H8.11~H9.3)
- 9 年 管理研修棟・談話室・厨房改修工事竣工(3/31)
- 11 年 第 2 キャンプ管理棟竣工(12/17)
- 13 年 独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に移行(4/1)、開所 30 周年記念式典挙行(12/1)
- 14 年 キャンプ場センター棟、屋根付広場竣工(8/1)
- 15 年 浴室棟竣工(3/25)
- 18 年 独立行政法人青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家に移行(4/1)
- 21 年 開所以来延べ宿泊者 300 万人を突破(4/14)
- 22 年 宿泊棟他耐震改修工事完成(3/25)
- 23 年 浴室棟暖房設備他改修工事完成(3/15)
- 27 年 体育館照明落下防止対策工事完成(1/26)
- 27 年 宿泊棟手摺等改修工事完成(2/27)
- 29 年 開所以来延べ宿泊者 400 万人を突破(4/19)
- 30 年 PA、キャンプ場、センター棟、屋根付広場、多目的フィールド及びテニスコートからなる一連の施設を「あかぎアドベンチャーエリア(AAA)」と命名(2/9)  
マスコットキャラクター「ササビー」公募にてリニューアル(10/1)
- 31 年 幼児向けの自然を活用した運動遊び場「ササビー広場」完成(3/29)
- 令和 元年 ササビー広場オープニングセレモニー(8/27)
- 2 年 国立大学法人群馬大学との連携・協力に関する協定(3/10)  
国立赤城青少年交流の家【公式】YouTubeチャンネルの開設(4/1)
- 3 年 前橋市との地域防災計画に関する協定締結(1/22)  
開所 50 周年記念式典(4/24)



# 研修施設の概要

名称		収容人数	名称		収容人数		
管理研修棟1階	講堂	400人	武道館	剣道室	50人		
	講師ロビー	10人程度		柔道場	50人		
	保健室	1人	棟1階 サービス	なごみの間	42人		
	静養室	3人					
	荷物置き場	約200人分					
管理研修棟2階	第1研修室 第2研修室	81人	棟2階 サービス	食堂ホール	250席		
	第3研修室	36人		売店・ラウンジ	—		
	第4研修室 第5研修室 第6研修室	42人		A棟(洋室)	最大86人		
				B棟(洋室)	最大86人		
				C棟(和室)	最大106人		
	第7研修室 第8研修室	36人		D棟(和室)	最大106人		
				E棟(和・洋室)	最大94人		
	特研棟	音楽室		120人	宿泊棟	和室	最大20人
		和室		50人		ゲストルーム1～4	各1人
	ルーム プレイ	2階プレイルーム		50人		ゲストハウス	最大13人
特別講師棟			最大8人				
アクティビティホール		200人	営火場		100人		
体育館		31m×29m	しらさぎ炊事場		80人		
浴室棟		100人	屋根付き広場		約200人		
			ササビー広場				

～体育館～



～講堂～



～研修室～



～音楽室～



～浴室棟～



～センター棟&屋根付き広場～



～食堂～

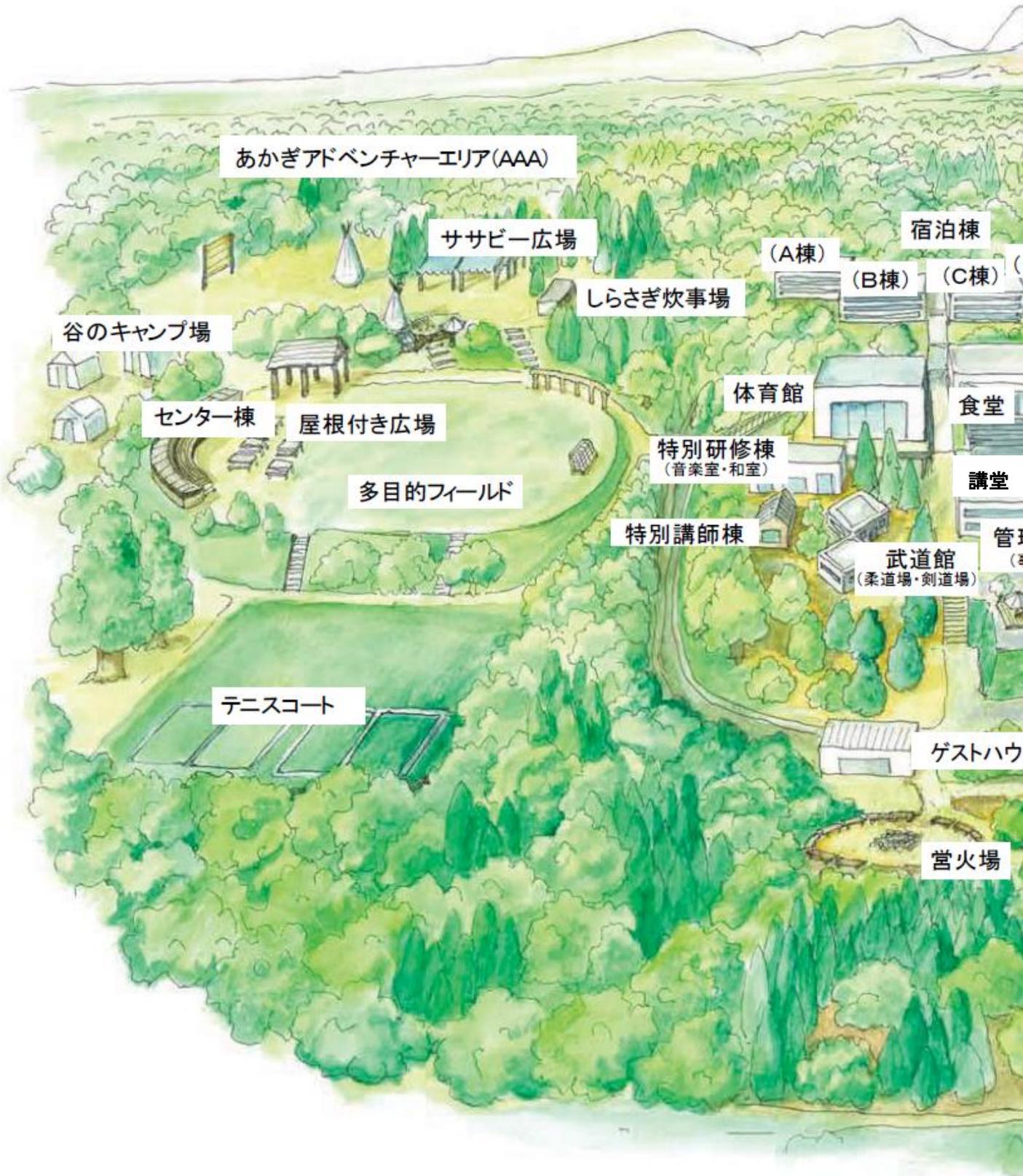


～柔道場～



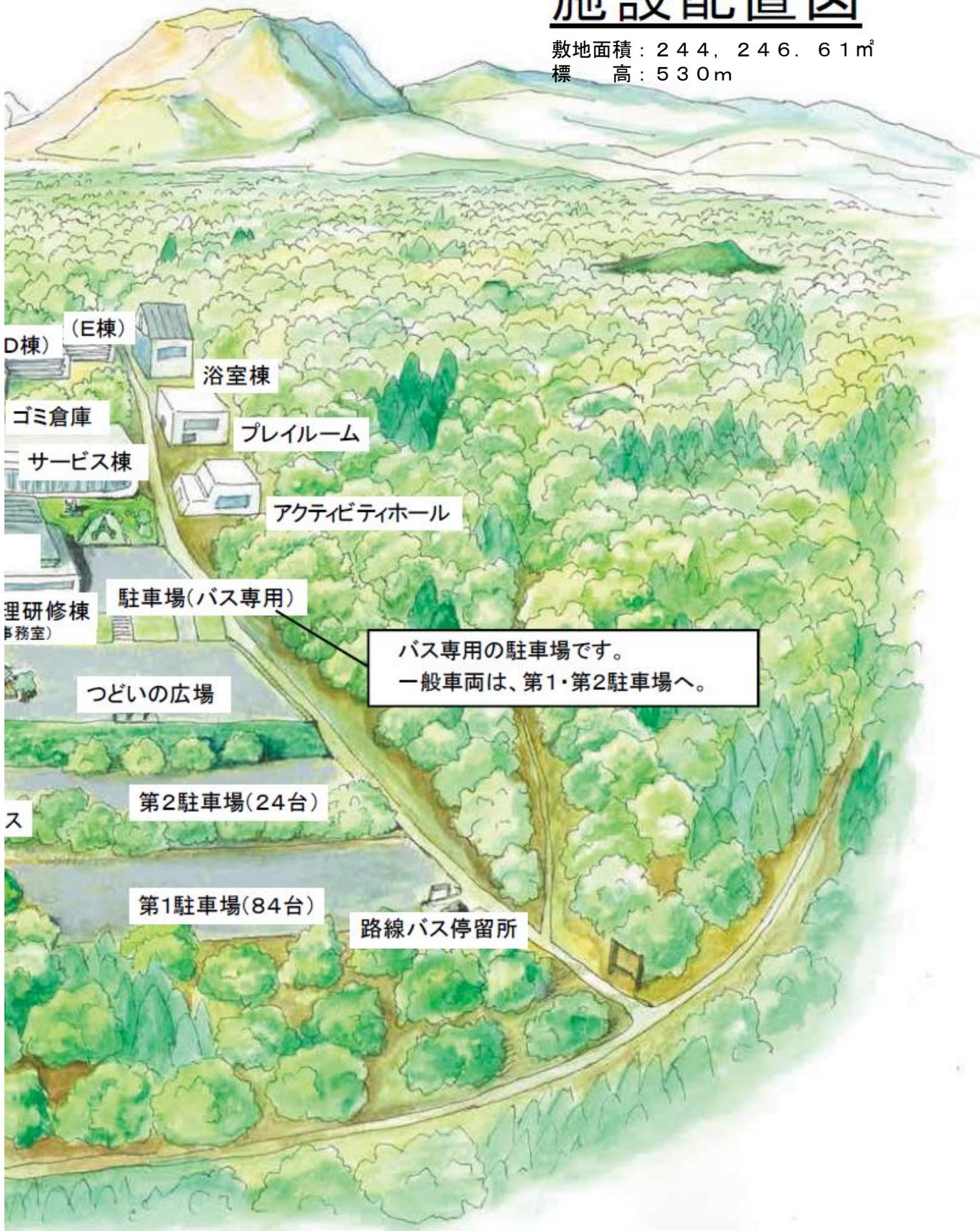
～剣道場～





# 施設配置図

敷地面積：244,246.61㎡  
標高：530m



# 利 用 案 内

## ■利用できる団体

成人の引率者がいて、あらかじめ具体的な研修計画を持った2名以上の団体。  
主に学校、教育関係の施設や団体、青少年を対象とした活動を行う団体、地域などの団体やサークル、官公庁、企業、ファミリーなどの団体が利用しています。

## ■申込みの流れ

- (1) WEB 予約: 希望日の空き状況を HP で確認のうえ、お申し込みください。
- (2) 内定通知書受取: 申込み受付が済み次第、内定通知書をお送りします。
- (3) 書類提出: 必要書類を提出してください。

- ① 利用日の2か月前まで: 活動計画書(1・2)
- ② 利用日の1か月前まで: 食事申込書、食物アレルギー事前確認票、教材申込書
- ③ 利用当日に持参: 利用者名簿、利用団体票

## ■利用できない日

- (1) 12月29日～1月4日(12月28日は宿泊不可)
- (2) 施設・設備の整備を行う日: 年間12日程度

## ■利用料金

- (1) 宿泊施設使用料: 青少年団体／無料、一般団体／1人1泊あたり810円
- (2) シーツ等洗濯代: 本館／300円、キャンプ場、160円
- (3) 食事料金(本館食)

年齢区分	朝 食	昼 食	夕 食
中学生以上	480円	580円	710円
小学生	470円	570円	690円
幼児(3歳以上)	360円	440円	560円

※弁当や野外炊事、活動備品、特定研修活動の指導は別途料金がかかります。

## ■標準生活時間



※提出いただいた活動計画書をもとに、交流の家職員が活動・生活時間や活動場所の調整を行います。

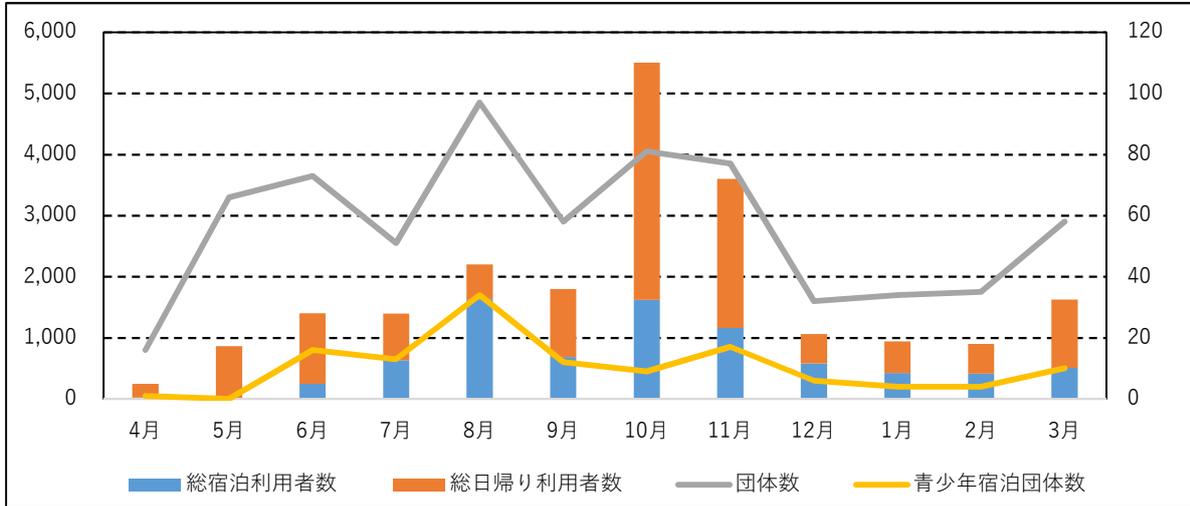
# 令和2年度 利用状況

■総利用者数 21,531人(宿泊総利用者数 7,924人、日帰り総利用者数 13,607人)

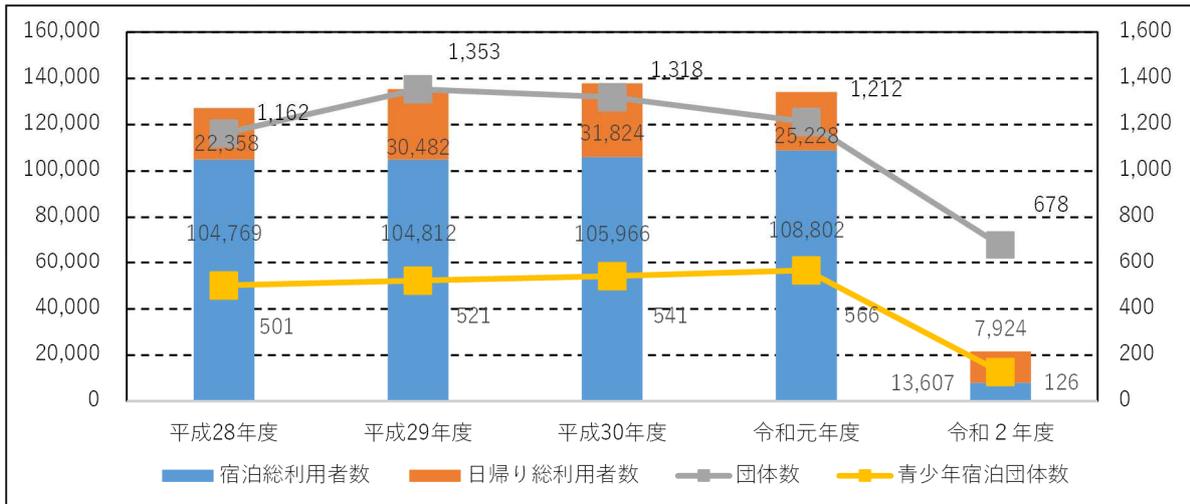
■団体数 678団体(宿泊青少年団体数 126団体)

※令和2年4月17日から5月14日まで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、団体の受入れを停止。

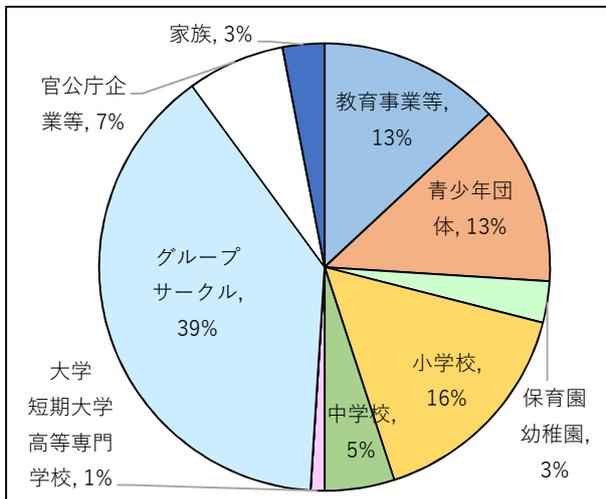
## 令和2年度月別利用者数と団体数



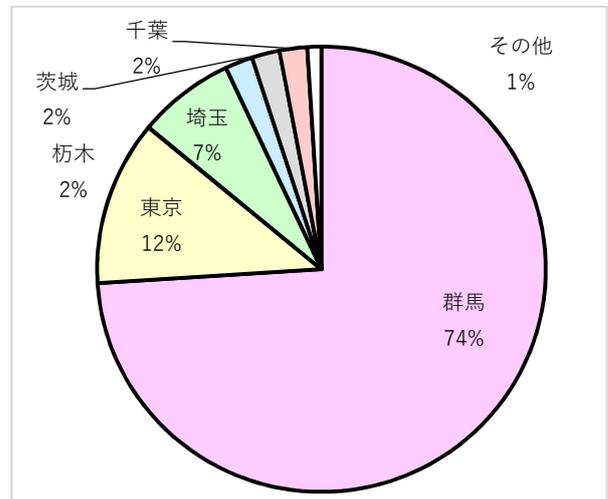
## 過去5年間の利用者数と団体数



## 団体別総利用者数



## 都道府県別総利用者数



# 令和3年度 教育事業等計画一覧表

## 子供対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	募集人員	趣旨（ねらい）
1	限界突破キャンプ （ボラキャンプ）	7/3(土)～7/4(日)	限界突破キャンプ参加の ボランティア	8	7泊8日の遠征型キャンプで、参加者の活動をサポートするためのスキルを学ぶ。
2	限界突破キャンプ （①事前キャンプ） （②本キャンプ）	①7/10(土)～7/11(日) ②7/31(土)～8/7(土)	小学5年生～ 中学2年生	18	7泊8日の遠征型キャンプで、登山・自炊などの活動を、仲間と共に、最後までやり抜くことを通して、何事にも自信を持って取り組める力を育むことを目指す。
3	全国高校生体験活動 表彰制度事業(アワード)	7/17(土)～7/18(日)	高校生	16	オリエンテーション合宿を通して、探究のプロセスを体験し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身に付ける。
4	防災キャンプ	8/20(金)～8/22(日)	中学1・2年生	16	これからの防災・減災の担い手である中学生を中心とした防災キャンプを開催し、防災ジュニアリーダーを育成することを目的とする。

## 生活・自立支援事業

No.	事業名	期 日	対 象	募集人員	趣旨（ねらい）
1	①生活自立支援キャンプ(秋) ②生活自立支援キャンプ(冬)	①9/11(土)～9/12(日) ②2/12(土)～2/13(日)	①玉村町母子会 ②太田市母子会	各 50	ひとり親家庭などの子どもに体験活動を提供する。(母子寡婦福祉協議会所属母子(父子)家庭の親子)
2	①生活自立支援キャンプ(夏) ②生活自立支援キャンプ(冬)	①8/14(土)～8/15(日) ②12/11(土)～12/12(日)	東光虹の家の児童・生徒	各 20	児童養護施設の子どもの体験活動を提供する。

## 主な活動プログラムの紹介



青少年教育指導者対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	募集人員	趣旨（ねらい）
1	利用団体体験活動研修会 ①登山プログラム ②④所内プログラム ③登山・赤城山学習	①5/8(土)②5/15(土) ③8/18(水)④3/26(土)	2021年度 本所利用団体の引率者	30 ③40	国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が実際の活動プログラムを体験することで、施設の利用方法や各プログラムの内容を理解する。
2	教員免許状更新講習	7/22(木)～7/24(土)	小中高の教諭	40	講義を通して体験活動の意義や必要性について理解すると共に、本所の活動プログラムについての講義や実習を通して体験活動についての基礎技能を習得する。
3	ボランティア養成セミナー	5/29(土)～5/30(日)	高校生以上	40	ボランティア活動への興味や具体的なイメージをもち、ボランティア活動に参画したいという意識を育て、ボランティア活動を行う上で必要な知識・技能について習得する。
4	自然体験活動指導者養成事業 ①NEALリーダー ②NEALインストラクター	①6/26(土)～6/27(日) ②9/18(土)～9/20(月)	①教育関係者、青少年教育の指導者を目指す者(18歳以上)、大学生、一般 ②自然体験活動指導者(NEALリーダー)を取得済みで演習1を修了済の方	①20 ②15	青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子どもの発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる(上級)自然体験活動指導者を養成する。

家族等対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	募集人員	趣旨（ねらい）
1	親子キャンプ	10/23(土)～10/24(日)	幼児とその保護者	各 30	幼児の発達段階に応じて、「36の基本的な動き」を取り入れた運動を行うとともに、保護者対象のプログラムでは、36の基本的な動きについて、その重要性について理解を促す。
2	育パパ&育ママ 応援ファミリーキャンプ	11/6(土)～11/7(日)	幼児・小学生を含む親子	各 50	登山、親子運動遊び、ミニキャンプファイヤー(オブション)などを通して、親同士、子供同士の交流を図る。

「体験の風をおこそう」運動・「早寝早起き朝ごはん」国民運動普及啓発事業

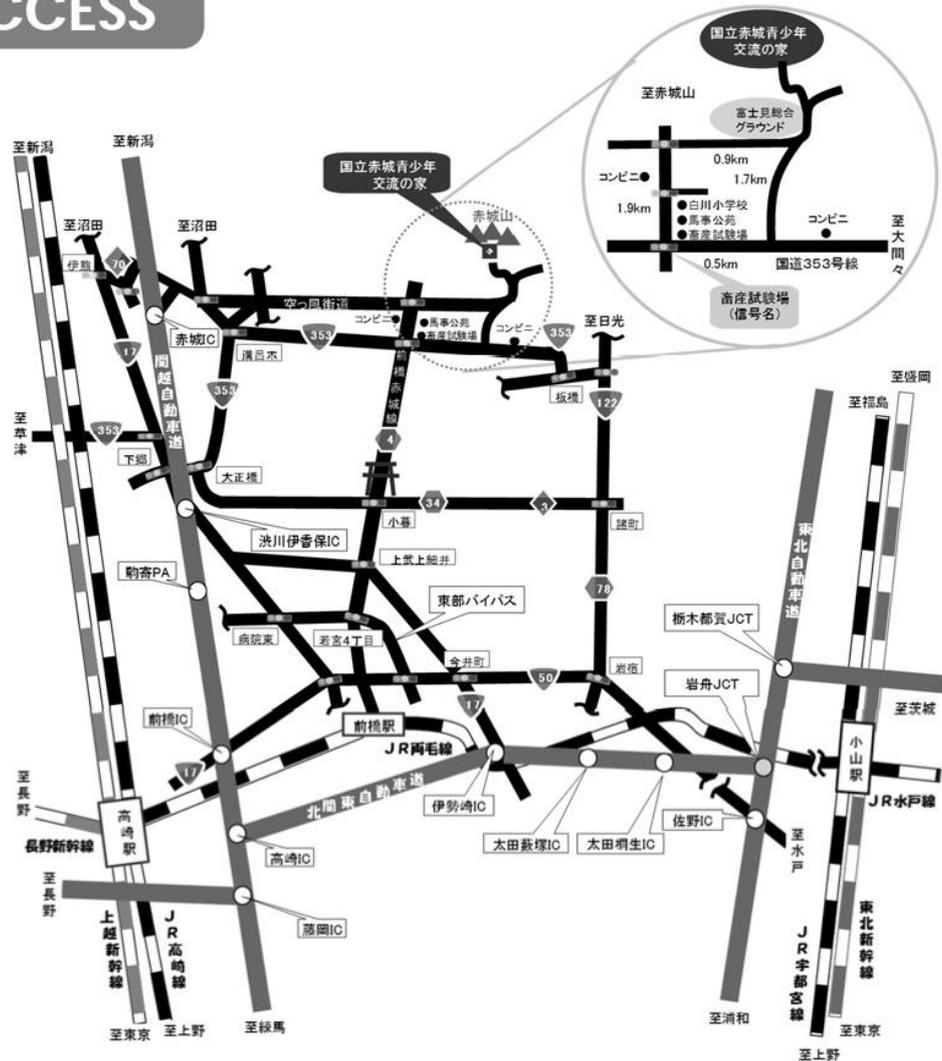
No.	事業名	期 日	対 象	募集人員	趣旨（ねらい）
1	赤城フェスタ2021	10/9(土)～10/10(日)	幼児・小学生・保護者	300	地域の方々を対象に野外体験のフェスティバルを開催し、体験活動に関心を持っていただく。体験の風をおこそう運動の趣旨に基づいて活動する。

幼稚園・保育園対象研修支援事業（園・学校単位）

No.	事業名	期 日	対 象	募集人員	趣旨（ねらい）
1	ササビー広場で遊ぼう	通年	幼稚園・保育園等	園単位	遊んで身につく36の基本的な動きを身につけるための場ときっかけを提供する。



# ACCESS



## 【自動車の場合】

- 関越自動車道「赤城I.C.」から約 20 分
- 北関東自動車道「伊勢崎I.C.」から約 45 分



## 【電車の場合】

- JR 両毛線「前橋駅」下車
- 路線バス(関越交通)「国立赤城青少年交流の家」行き 40 分(片道 780 円)。
- または、前橋駅からタクシー利用(片道約 4,000 円)。

注: ○路線バスは 4/27 から 11/3(予定)のみ運行。

平日はデマンド運行、要予約: 027-210-5566(関越交通)

土・日・祝は 1 日 3 往復で予約は不要。

○4/26 以前および 11/4 以降は路線バスの運行はありません。